

地区版第6号

発行日：平成24年3月15日

たちばな授産所だより

発行者：社会福祉法人たちばな会
理事長 桑原 嘉一
住 所：浜松市浜北区於呂514
電 話：(053) 588-3214

たちばな授産所を運営する社会福祉法人たちばな会は、浜松市から平成24年度の施設整備事業として、浜北区の中瀬地区にある浜北特別支援学校の卒業生の進路先及び在宅障害者の日中活動の場の確保を目的に、新施設（就労移行、就労継続B型の多機能型で定員42名）の建設を承認していただいています。現在そのための手続き・準備を進めているところで、施設北側の市道浜北於呂62号線の拡幅工事もその一環として行われます。法律によって福祉施設を建設する場合は進入道路の幅が6m以上必要ということで、地域の皆様のご理解・ご尽力を得てこの4月早々にも工事が始まることになっていますので、しばらくの間、ご迷惑をおかけすることになるかと思いますが、何卒ご容赦願います。

地域によっては、障害者施設の建設に対してはまだまだ根強い反対があることも聞いています。改めてこの浜北地域の皆様の障害者に対するご理解とご協力に感謝するとともに、今後とも当法人運営に対するご指導・ご鞭撻をよろしく願います。

(たちばな授産所長)

たちばな授産所の補修事業が進む

たちばな授産所が開所したのは昭和54年、今から32年前のことです。施設を大切に使うだけでもそれなりに手を入れなくてはならない箇所が増えました。たちばな会後援会の米田良正会長様をはじめ役員の皆様、会員の皆様のご理解、ご協力を得て次のような補修・整備事業を完了、または実施中です。心より感謝申し上げます。

- 平成22年度 ・施設本体の外壁の塗り替え
- 平成23年度 ・訓練棟の屋根、外壁の修繕・塗り替え
- ・北側道路拡幅のために、今まであった正門、フェンスを取り除く工事を行いました(写真1)。堂々とした門柱がなくなって少し寂しくなりました。しかし、現在まだ途中ですがモダンな門柱を整備し、平成24年4月早々にはフェンスも設置する予定です(写真2)。
- ・玄関正面の植木(つげ)も大分枯れた枝が目立ってきたので、思い切って別の木(かいずかいぶき)に植え替えました(写真3)。
- ・雨漏り防止のため、飛散防止フィルムが劣化した窓ガラスを強化ガラスに替えました。



(写真3)



(写真1)



(写真2)



行事の紹介

地域の皆様に支えられて



ボールの行方が気になるな～



いいスコアに満足の笑顔

【ボーリング大会】 (H23. 11. 16)

手軽に楽しめるボーリングは利用者にとっても人気のあるスポーツ。今年も天竜オークラボウルで実施しました。利用者も職員もストライクやガターに一喜一憂。



一杵入魂 松井後援会副会長様

【もちつき大会】 (H23. 12. 16)

恒例となったもちつき大会。日頃お世話になっている協力企業、地元の民生委員、老人会の皆様、そして後援会員の皆様をご招待し、楽しい一時を過ごしました。



挨拶をしてくださった㈱日本ロック長谷川顧問様



お餅になるにはまだまだ



きな粉餅もいいな からみ餅も…



真ん中を狙って”エイ！”

◆ 23年度下半期の実施行事

< 10月 >

慰安旅行、ふれあい広場

< 11月 >

ボーリング大会、

< 12月 >

もちつき大会、一日施設長

クリスマス会、慰労会

嘱託医検診、歯科検診

< 1月 >

初荷、仕事始め、鏡開き

新年会

< 2月 >

節分、ブラッシング指導

< 3月 >

いちご狩り(予定)

【クリスマス会】 (H23. 12. 24)



年末の忙しい作業の合間をぬってのクリスマス会。松ぼっくりのツリー作りも真剣そのもの。



【節分の豆まき】 (H24. 2. 3)



福はうち～、鬼はそと～。疫病神を追い払って健康を願いました。

